

新たな救助リソース

コロナ禍における海外の山岳救助活動について、日本登山医学会副会長で国際山岳医の大城和恵さんから、新しい救助器具の紹介があり、感染予防策に苦慮する警察、消防関係者から大いに関心をもたれていた。

そのひとつは「HEPA フィルター」(高性能空気フィルター)を装着したバックバルブによる人工呼吸。山岳救助の主要な救命活動は、①心肺蘇生 ②人工呼吸 ③胸骨圧迫 ④搬送だが、HEPA フィルターを要救助者に装着することで、ウィルス拡散が防げ、救命活動全体の安全性が格段にあがるという。

そしてもう一つが「一輪車つき担架」だった。軽金属製担架の下部に、取り外し可能な一輪車をつけることで、険しい登山道でもコントロールが効き、少人数(2人)による地上搬送が可能となった。搬送時の密も防げ、救助の効率もあがる。

登山界のニューノーマルを求めて

「全山遭」では、静岡大教授の村越真氏(心理学・リスクマネジメント)がファシリテーターとなって、メインテーマ「コロナ禍から考える新しい登山様式と減遭難」について、聴衆も参加してのワークショップが行われた。その中で登山ライターの柏澄子さんの発言は、登山界の将来をみすえた提言として注目に値する。未経験者の登山者が増えていることは、新たな登山者の誕生といえるし、低山の山が登られていることは、身近な山や里山が見直されているとも捉えられる。登山の体調管理や計画に慎重さが求められることは登山本来の姿ともいえるだろう。こうしたごく自然な登山欲求に対し、教育したり管理したりするのではなく、サポートする体勢づくりこそ必要だ、という。

そのサポート体制とはどういうものか。山小屋の経営や登山道の整備なども含め、登山のニューノーマルを創世するには、担当行政に加え、登山知識や経験豊富な山岳会等の民間組織、自然保護や生物学等の学術的な知識、そういう横断的な活動の必要性こそが求められる、という方向性を打ち出しました。

~~~~~

## 指導委員会

### 指導員研修会

日 時：6月20日 9:00~12:00

場 所：浦和コミュニティセンター

1：SMSCA 指導員総会&JMSCA 指導委員長会議報告

2：医科学研修「クライミングに関する医科学」

「熱中症について」

講師：伊藤正孝先生(SMSCA 医科学委員長・防衛医科大学校准教授・国際山岳医)



指導員総会&全国指導委員長会議報告

### 指導員研修会報告

2021年6月20日午前9時から、浦和コミュニティセンター13研修室(パルコ10階)にて、R3年度指導員総会と指導員研修会が開催された。

1部は、2020年度の活動報告・決算報告と法人化に伴う指導員総会の解散、R3年度の指導委員会の活動計画、JMSCA 全国指導委員長会議について報告があった。

特に SMSCA の法人化に伴い今までの指導員総会の解散と繰越金の法人への移譲説明があった。

### 「クライミングに関する医科学」

2部は、SMSCA 医科学委員長:伊藤正孝ドクター



による研修で、前半は「クライミングに関する医科学」。専門は内科医であるからと言いながらも解剖生理学の講義もしているということで、外傷にかかわる各部位の解剖学的説明、特に骨格と筋肉、関節等について詳しく講義していただいた。

外傷と障害の違い、捻挫・脱臼・肉離れ、腱と靱帯、拮抗筋等…。クライミングによる外傷のリスクは、墜落、飛び降り、キョン動作等による半月板損傷。墜落、飛び降り動作等による十字靱帯、内外側副靱帯の損傷、パキリ(手掌腱鞘の断裂)等。

これらを予防するには、特に十分な準備運動と安全な落下、着地姿勢の習得が大事とのこと。



### 「熱中症について」

2部の後半は、これから起きやすい症例「熱中症」について、その原因と予防、症状と対処について講義していただいた。特に山では脱水症状になりやすいので、尿量減少（尿意が無いの）が脱水の指標になるとのこと。また、積極的な水分・塩分補給が大切とのこと。

最後は学生によるシミュレーション（熱中症によって倒れている人への対応の仕方）を実演して終了となった。毎年、専門的な話だが、学生に講義するようにわかりやすく楽しい講義で、あっという間に2時間が経ってしまった。

ありがとうございました。



救助シミュレーションの看護学生と、急病人役の伊藤先生

写真・文 SMSCA 加藤 富之

### 個人会員委員会

### 「初級ロープワーク机上講習会」

日時：2021年6月2日

場所：大宮シーノ

講師：SMSCA 瀬藤主任講師、鈴木副主任講師

参加者：個人会員委員 笠原委員長他4名

個人会員 10名

一般会員 7名 計23名



瀬藤講師によるロープワーク実技

### 「初級ロープワーク実技講習会」

日時：2021年7月4日

場所：東吾野・アルパイン入門道場

講師：SMSCA 瀬藤主任講師、鈴木副主任講師

参加者：個人会員委員 笠原委員長他2名

個人会員 3名

一般会員 4名 計11名



### 「初級ロープワーク実技講習会」に参加して

個人会員 詫摩幸照

7月4日（日曜日）あいにくの雨と新型コロナウイルスの蔓延が気になる中、12名ので「初級ロープワーク実技研修会」が東吾野の「アルパイン入門道場」で行われた。講師は瀬藤武氏と鈴木百合子氏である。個人会員になって初めての実技研修、期待と共にちゃんとできるか少々不安。若い頃岩登りの会に所属していて多少の心得はあるが、なにも50年近く前のことで、当時の体力も技術もない。最新の技術を学ぶ初心者として臨む。

研修会は、残念ながら雨で平戸の岩場でのトップロープによる岩場での登下降（とても楽しみにしていた）はできず、アルパイン道場での研修となった。午前中は、まず、基本的なロープワークの確認、主に色々なフリクションヒッチの使い方を教えてもらう。特に硬くしまつて動かない状態をどのように切り抜けるかを丁寧に教えていただいたことが印象に残った。次は、ハーネスとメインロープの連結の仕方である。フィギュアエイトノットとブーリンのそれぞれの利点と欠点の解説もあった。ちなみに私は現役時代にはダブルブーリンを使っていた。

今は、フィギュアエイトノットが主流とのこと。次に、セルフビレイの取り方、支点構築やビレイを取るときの留意点等を教えていただき、各自で練習する。この項目では流動分散やカラビナの使い方に特に留意するよう指導される。

昼食の前後で、懸垂降下の実習をする。最新のバックアップシステム付きの懸垂降下の具体的な手

順、留意点等の指導があった。懸垂下降は一步間違えば死に直結する事故となる。ここで学んだ、手順、注意点を確実にできるようにしたい。

最後に、パートナーの確保の仕方と、事故の際の自己脱出の仕方の実習があった。今回講習会で習ったことは基本的にしっかりと身につける必要がある。しっかり復習したい。



講習会場の「アルパイン入門道場」にて

## 遭難対策委員会

### 読図・アクシデント講習・研修会 敬称略

期 日：7月10日-11日

場 所：東吾野・橋本山周辺

参加者：SMSCA 瀬藤主任講師、秋庭副主任講師  
スタッフ1名、一般会員7名 計10名



ナイトハイキング出発前のミーティング



会場から福德寺経由で稜線に上がり夜間の地図読みを体験、橋本山近くで、にわか雨に降られたが、吾那神社を経て夜九時ごろに帰着した。

## 自然保護委員会

### 研修会・公開講演会 報告

日 時：6月27日(日)

場 所：北浦和カルタスホール

参加者：講師1、会員他26、スタッフ3、計30名

- 1 自然保護委員会令和3年度事業計画について
- 2 公開講演会「いま山で何がおきているのか」

2021年6月27日、14:15から、北浦和ターミナルビル3階カルタスホールにて、山はみんなの宝クラブ副代表の森孝順先生の、「いま、山で何がおきているか～山を歩いて気づいたことから～」をテーマに講演が行われました。

先生が全国各地の山や公園そして海外へ、国立公園管理員(レンジャー)としての体験から「山を歩いて気づいたこと」として、幅広く日本の山が抱えている課題についてのお話でした。森林の荒廃、野生動物の被害、植生変化、里山・雑木林の消滅、森林飽和、地球温暖化、山岳トイレの維持管理、ゴミ持ち帰りの成功からし尿の持ち帰りへ、登山道の維持管理などについて問題提起がされました。

#### 講演者紹介



元環境庁(現環境省)レンジャー  
山岳団体自然環境連絡会幹事、  
山はみんなの宝クラブ副代表、  
登山道法研究会副代表、  
JICAフィリピン共和国専門家  
派遣など海外保護区調査に携わる



「いま、山で何がおきているか」

### SMSCA 自然保護委員会からのお知らせ

先日6月27日の自然保護指導員研修会でご紹介した「これでいいのか登山道」報告書について

#### 【紹介文】

普段、登山者が山に登りながら、誰が登山道を整備し、誰が維持管理しているのか、意識することなく利用しています。



国や地方自治体で整備された登山道は少なく、多くの登山道は管理者が曖昧のままで、山小屋関係者の自助努力や山岳団体などのボランティア活動により維持されているのが現状です。

今回、登山道の現状と課題を明らかにする目的で、「これでいいのか登山道」の報告書を作成しました。事例写真を多数掲載し、各方面から検討を加えたものです。ご希望の方には実費頒布を致しますのでご案内申し上げます。

●制作：登山道法研究会

主な執筆者：上幸雄・森孝順・久保田賢次・徳丸久衛・森山勇

●体裁：A4判・オールカラー・160ページ

●販売：1,000円

●申込先：自然保護副委員長 堀江伸子

E-mail: [nokko.ho@jcom.home.ne.jp](mailto:nokko.ho@jcom.home.ne.jp)

TEL:048-833-6030 携帯：090-4821-1398

購入希望の方は上記・堀江委員宛直接申し込み。

~~~~~

海外登山委員会

「高所登山の世界」

あこがれの高峰を安全に楽しむ方法

山好きを魅了してやまない世界の高峰、だが実際そこはどんな世界なのだろう？ エベレストから富士山まで、ベテランヒマラヤニストと気鋭の国際山岳医が、あこがれの高所登山を安全に楽しむ方法をお教えます。



「高所環境の人体への影響と高所障害について」

伊藤正孝氏（防衛医科大学校准教授、国際山岳医、SMSCA 医科学委員長）



「ヒマラヤ高所登山の実践」

大山光一氏（7大陸最高峰登頂者、日本山岳会 埼玉支部長）

日時：2021年10月21日（木）19:00～21:00

会場：シーノ大宮 桜木公民館 5F 第1,2講座室

資料代：500円 申込み不要、先着70名

問合先：海外登山委員長 鈴木百合子

詳細はHPを参照下さい。

開催延期（10月21日）

高度順応を体験してみよう！

2021年 富士山山行



宝永山火口を望む

過密が予想される富士吉田ルートをさけ、表富士側を登ります 修験道の面影を残す村山古道！ダイナミックな宝永火山！富士山本来の迫力を体感します。山行リーダーは全員「海外登山委員」

期 日：2021年9月4日（土）～5日（日）

朝発、山中 1泊

問合先：海外登山委員長 鈴木百合子

参加者募集中・詳細はSMSCAのHPを参照下さい

~~~~~

## 選手強化委員会

### 活動報告

内海 信

【高体連学総体ボルダリング競技会】6月15日（火）

ロッククラフト川越

男子総合：33名参加 猪鼻碧人（聖望学園）1位、石井海翔（久喜北陽）2位、関口駿翔（坂戸）3位

女子総合：8名参加 大嶋唯花（市立川越）1位、大澤苺花（県立川口）1位、柳沢葵（本庄）1位

.....

【コンバインド ジャパンカップ】

6月18日（金）～19日（土）

盛岡運動公園

男子総合成績：百合草碧皇 11位、本間大晴 14位

女子総合成績：小池はな 7位

.....

【国体・関東ブロック大会】

第76回 関東ブロック大会 6月19日（土）～20日（日）

栃木県壬生町

成女選手：坂井絢音 L／8位、B／6位

川畑美央 L／8位、B／7位

成女監督：山崎智子

☆総合成績 4位 関東ブロック大会突破ならず

**少男選手**： 猪鼻碧人 L／5位、B／2位  
山田航大 L／5位、B／9位

**少男監督**： 内海 信

☆総合成績 2位 関東ブロック大会突破

**少女選手**： 野部七海 L／5位、B／4位  
武石初音 L／7位、B／6位

**少女監督**： 鈴木友希

☆総合成績 4位 関東ブロック大会突破ならず

### 「三重国体」 出場決定！ 選手監督

成男選手：渡邊海斗 (株8611)、  
本間大晴 (日本大学)  
成男監督：鈴木宏昭 (久喜工業高校(職))  
少男選手：猪鼻碧人 (聖望学園高校)、  
山田航大 (黒浜中学校)  
少男監督：内海 信 (埼玉県山岳・SC協会)

【2021年ユース日本代表選手】 JMSCA 発表

男子ジュニア：百合草碧皇 (早稲田大学)

IFSC 枠保有選手

男子ユース B：猪鼻碧人 (聖望学園高校)

女子ユース A：小池はな (川口市立高校)

女子ユース B：武石初音 (上藤沢中学校)

【世界ユース選手権ロシア・ヴォロネジ派遣選手】

IFS 枠保有選手 ボルダリング競技ジュニア

百合草碧皇 早稲田大学



**三重国体・応援します  
さいたまガンバ！**

広報委員会

### 加盟団体 動向のお知らせ

入 会：令和3年7月26日付

日本スノーシューイング連盟 (J S S F)

代表者：原田 克彦・委員：恵 秀彦(SMSCA 参与)

退 会 令和3年5月14日

熊谷アルムハイキング倶楽部

1958年(昭和33年)9月に県北唯一のハイキングク

ラブとして発足、県岳連、熊谷市岳連に加盟。

拠点を熊谷市内として初期のころは奥武蔵、西上州、奥多摩、丹沢にその後谷川周辺、北、南、中央アに幅広く足跡を残し、還暦を迎えた歴史を刻む。解散時の代表は小高英雄氏 広報委

### 関係団体動向のお知らせ

(公社) 日本山岳・スポーツライミング協会

令和3年度役員名簿

|           |               |
|-----------|---------------|
| 代表理事(会長)  | ・丸 誠一郎        |
| 筆頭副会長     | ・亀山 健太郎       |
| 副会長       | ・小日向 徹・高野 孝子  |
| 専務理事      | ・小野寺 齊        |
| 常務理事兼事務局長 | ・羽鎌田 直人       |
| 常務理事      | ・古賀 英年・村岡 正己  |
|           | ・相良 忠磨・蛭田 伸一  |
|           | ・濱田 豪         |
| 理 事       | ・水島 彰治・山口 純子  |
|           | ・町田 幸男・前田 善彦  |
|           | ・山本 譲・六角 智之   |
|           | ・水村 信二・青山 千彰  |
|           | ・栗田 季慎子・野村 善弥 |
|           | ・安井 博志・小竹 靖高  |
|           | ・笹生 博夫・原 秀樹   |
| 監 事       | ・中畠 正喜・古屋 壽隆  |

※村岡正己常務理事・野村善弥理事は

SMSCA 派遣役員

山梨県山岳連盟 令和3年6月

|         |               |
|---------|---------------|
| 会 長     | ・小宮山 稔        |
| 副会長     | ・舟久保 元孝・磯野 澄也 |
|         | ・辻 敏夫         |
| 副会長兼理事長 | ・望月 啓治        |
| 副理事長    | ・中澤 弘雄・金丸 祐司、 |
|         | ・中川 恵美子       |

(公社) 東京都山岳連盟

第五期役員 令和3年6月

|          |              |
|----------|--------------|
| 会 長      | ・松本 敏        |
| 副会長      | ・中嶋 正治       |
| 副会長兼専務理事 | ・廣川 健太郎      |
| 理 事兼事務局長 | ・長田 佐恵子      |
| 理 事      | ・栗田 季慎子・切嶋 良 |
|          | ・原 誠一郎・本郷 利夫 |
|          | ・藤田 智子・桜井 進  |
|          | ・猪狩 ノブ       |

**SMSCA 会員投稿****秩父「大平山」**

山行日；2021年6月20日(日)

参加者；CL 森松 恵一郎、SL 山口 新二、

飯田 芳弘、加藤 實、岡田 圭司、5名



7時間半かけた大平山山頂

浦山ダム・さくら湖南岸 高圧鉄塔巡視路入口より登頂目指す大平山は懐が深く展望が無い藪山で地味な山だ、地味イコール魅力の無い山と思われがちだが、果たしてそうなのか。

かつて蓮田のK氏が埼玉の百名山を選ぶなら、この山を外してならないと言い切り大平山の魅力を絶賛していた。蓮田のK氏は確かに藪山愛好家でその達人と言われた人物だ、多くの登山者は花と展望と温泉と誰もが登る有名な山を好むと言われる。そういう山を否定するつもりはないがそれだけが魅力的な山なのか、ではこの山域が月例山行のきっかけになったのは当会のM氏で今年の1-2月に試登を行い登頂したことからだ。

6月20日(日) 前夜さくら湖のほとりで雨の一夜を天幕で過ごし3:00起床で山支度をした、

雨から曇りへと天気は回復し、さくら湖南岸の高圧鉄塔巡視路を利用して5:04頃登り始めた。

2本目の新秩父線66号鉄塔迄は道が良いが、次第に深い樹林と深い落ち葉で覆われた踏み跡は方向が判断つき難い、道らしき踏み跡を探しながら急登を喘ぐ、栗山を過ぎ岩場の連続帯を慎重に登ると樹林の合間に矢岳が滝雲に流れる光景で姿を現した、雲海の先に雨上がりの矢岳にカメラを向け数枚シャッターを切った、長いこの尾根で樹林が開けるのはここだけだった。

さらにブナとミズナラの多い尾根を大ドッケ・独標・1469m標高点と登り下りを繰り返して大平山に12:30頃たどり着く、さくら湖から7時間半で登頂を果たし、さらに体力と残り時間を相談してこの先の七跳山迄足を延ばした。七跳山頂で男性一人、尾根の戻りの標高点付近で先に行ってもらった女性1人、二人しか会わない静かな山であ

ったが無事にさくら湖迄17:20頃着くことができました。あそうそうこの山の魅力は3月頃残雪の下に咲くある花がこの山の魅力としてもうひとつありました、花の名前と正確な場所は自然保護の為に内緒にしておきます。

写真・文 UDAC 山口新二

**【編集後書】**

「全山遭」報告から読める悪化する山岳遭難の状況をストップさせるには何をすべきか？

今回、[遭難事故の傾向が高齢化の進行、世代が60代から70代に移行、重篤な事故が増加傾向、道迷いが右肩あがりに増加、事故様態の1/3を占める]と協議会に出席された鈴木理事が問題点を鋭く指摘している。今協会員として何をすべきか、立ち止まって自問自答する必要かも。広報 岩井田



幸福の虹 ダブルレインボー

7月11日午後5時半ごろ雨上がりの虹。二重の虹(ダブルレインボー)とはとても珍しい現象。

色をはっきり見えるほうが主虹、上側の薄いほうが副虹と呼ばれている、白い建物は市立川越高主虹は大気の水滴で1回反射され現れるものに対し、副虹は2回反射されます。

そのため、私たちがよく見ている主虹は空側から赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の順番ですが、副虹は赤が地面側の正反対の順番になります。幸福を呼ぶ虹と言われており、コロナ感染拡大終息と五輪の無事開催を願いたいもの。 m.i

(一社)埼玉県山岳・スポーツライティング協会

**SMSCA news 71号**

発行日 令和3年7月31日

発行者 石倉 昭一

事務所 〒362-0037

上尾市上町2丁目6番7-302号

info@smsca.or.jp

編集者 広報委員会

URL https://www.smsca.or.jp



# ALP K2®



**自** 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。  
あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。  
医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

**季** 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



**登** 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の活動を応援している  
田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携  
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

## ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alp2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を  
取得致しております